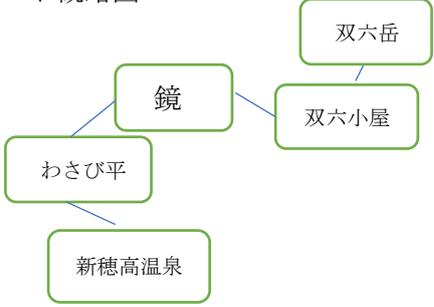


夏山集中登山山行報告書

双六岳

平尾

山名	双六岳		山行名	夏山集中登山		
ルート	新穂高温泉～わさび平～鏡平～双六小屋～双六岳～双六小屋～鏡平～わさび平～新穂高温泉					
山行日	2024年8月2日(金)～4(日)		天候	晴れ		
参加者	CL 平尾、SL 北條、幾田、蒲田、河村、高橋/6名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名	時:分	地名	時:分		
	新穂高温泉	発	12:40	双六岳	着	14:14
		発	12:40		発	14:40
	わさび平	着	14:35	双六小屋	着	15:50
		発	4:25		発	4:15
鏡平	着	9:17	鏡平	着	6:48	
	発	9:54		発	7:03	
双六小屋	着	12:45	新穂高温泉	着	11:50	
	発	13:13		発		
<p>1日目：新穂高温泉ロープウエイ前から蒲田川左岸の林道をわさび平まで歩く。「お助け風」という名の風穴など所々天然のクーラーもあり、ゆっくりと花など見ながら行く。先行した笠ヶ岳組と笠新道入口で合流、ブナ林に囲まれたわさび平小屋に入る。小屋で受付をしていると若者が飛び込んで来て小屋の手前で動けなくなっている高齢登山者がいると聞いてきた。</p> <p>2日目：コースタイムの×1.1で計画し双六岳を往復して小屋に戻るまでに、出発から約9時間30分かかるので4時出発とした。林道を歩き蒲田川の橋のほとりから小池新道となる。大きな石が割と平に歩きよいような段差で置かれているのが気に入った。秩父沢を越え、灌木のなかを登りチボ岩、イタドリが原、シンウドが原と越え対岸の樹林帯を東へすすむ。クマの踊り場を越え、あと5分の表示に元気をもらい登っていくと鏡池に出た。向いに槍ヶ岳が見え池面にその影が映り撮影タイム。鏡平小屋で休憩し弓折岳の山腹斜面を北上する。弓折乗越にはハクサンイチゲやシナノキンバイ、アオノツガザクラなどたくさんの花が咲いていた。北へ稜線を行きチングルマの群落を過ぎると荒原のような別世界がひろがっていた。その先に花見平とあり池と地塘の周りにはハクサンチドリなどお花畑が広がっていた。何回かアップダウンをくりかえし、左手奥に双六池畔のキャンプ場と双六小屋が見えだした。12時45分小屋に到着。鷲羽岳が正面に大きく見え、右手には西鎌尾根へ向かう道が登っている。受付を済ませ荷物を置いてサブザックで双六岳に向かう。ハイマツの間の急登を行き、中道との分岐を左へさらに登る。ガスがかかってきて周りの山並みは隠れてきた。積乱雲が頑張らないよう祈り先へ進む。ハイマツ帯を越えたところで広々とした岩礫の平地になる。その先は「周りの景観で疲れを感じない道」と戻ってくる登山者が言っていたまさにそのとおり。「天空の滑走路」と呼ばれている広い大地は圧巻だ。ここに来たくて2000年の夏山に申し込んでいたことを思いだした。ここで振り返れば槍ヶ岳が背後にどんと大きな姿で立ち上がっているはずだが、残念ながらガスはついに切れなかった。最後に岩の道をいくと双六岳の山頂にでた。写真を撮り小屋に戻る。</p> <p>3日目：新穂高温泉11時30分着を目指し、4時スタートとした。朝靄のなかゆっくりと進む。くろゆりベンチで休憩時に槍ヶ岳の先に朝日が昇るのが見えた。弓折乗越を越えて下ると槍や穂高がくっきりと見え下には雲海が広がっていた。登山者が多く道を譲っていると、予定より15分以上かかってしまった。わさび平小屋で荷物を受け取っていると、若者が飛び込んで来て秩父沢の先で骨折をした人がいると知らせにきた。ゆっくり安全がなによりと再認識した。体調が悪くなった人もだが、荷物を分散しゆっくり行き、なんとか一緒に双六岳まで行き、無事山行ができてなによりだった。 YAMAP：29.5km、上2,232m/下2,214m、19時間54分</p>						
ヒヤリハット なし						



鏡池の前で



お花畑 ハクサンイチゲ



双六小屋の向うに鷲羽岳



天空の滑走路を背に



双六岳をバックに



<感想>

河村

○今回、トレーニング登山で初めて登山中に足がつってしまい、またつるのではないかと不安と、10時間という今まで歩いたことのないくらい長い時間歩くとのことで、体力面でも心配でした。暑さと長い距離で、ゴールが遠く感じましたが、素晴らしい景色とかわいいお花たちに癒され、何とか完歩できて、ほっとしました。特に鏡池での景色はとても素晴らしく、疲れも吹き飛びました。池に映った槍ヶ岳も見ることができ、感動でした。不安をかかえての夏山登山でしたが、終わってみれば、楽しい思い出ばかりです。平尾さんをはじめ双六岳のメンバーの方々、大変お世話になりありがとうございました。

幾 田

○私は、2日目の朝、出発する間に嘔吐し出発する時間が遅れ、行動中も体調がよくなかった為リュックの中身を皆さんに分けてもって貰い、無事山小屋まで到着することができました。自分の胃腸不良にもっと気付くべでした。皆さんと同じ景色が見れたのも、「チーム平尾」のメンバーのお陰です。ありがとうございました。欲が出てきて、またいつか双六のその先にある三俣蓮華岳を通して色々なところに縦走したいなあという気持ちが湧いてきました。夜に「チーム平尾」全員お揃いの手ぬぐいを買って、翌朝真っ暗な中でヘッドライトを着けポーズつけての記念撮影は面白かったなあ。平尾さんの植物公開授業を受けながらの下山も6人ならではの光景で、大変楽しかったです。

北 條

○双六岳登山は、私にとって15年前に登ったときのリベンジの登山でした。

15年前に登ったときは雨模様の登山で、鏡池の槍ヶ岳も双六岳頂上の北アルプスの絶景もすべてがガスと雲の中でした。どんな山かも定かに覚えがなく、山頂の標識を写真に収めたことだけ記憶に残っています。そのとき記念に買った『双六岳』とかかれたストール型手拭いを首に巻いて、北アルプスの絶景を期待して参加しました。

今回は、わさび平小屋で1泊したのもあり、年を重ねた割には思ったより楽に登れました。

お天気は、暑かったけれど最高。所々で槍を見ながら、鏡池に映る槍をスマホでバッチリ、あまりに綺麗に撮れたので、スマホの“待受画面”にしました。双六岳の頂上から見る槍が岳や穂高連峰は最高でした。山小屋は気候のせいかな思ったより暑くて、寒さ対策のダウンやフリースの出番がなく、アルプスの山小屋で暑いと思ったのは初めてでした。

リーダーで黒一点のHさん、女子に会わせていただいてありがとうございました。一緒に登ったメンバーのおかげで楽しく登れました。お揃いで6人で買った、『わさび平小屋～双六岳までの双六』手拭い大切にします。



双六 手拭



双六小屋の前で